

# 四方漁港(富山市管理・第1種)



- 漁港の所在地 富山市四方港町
- 漁港の指定 昭和26年 7月28日 農林省告示第270号
- 漁港管理者の指定 昭和39年 7月18日 富山県告示第531号
- 沿革

四方漁港は、江戸時代から富山城下への魚類集散地として栄えていた。昭和9年東防波堤、西防波堤が築造され、第1～5次整備計画までに、修築事業、改修事業等により、岸壁、物揚場、防波堤、道路等が整備され、漁港施設が整った。しかし、漁船の大型化に伴い漁港が手狭になったこと、また施設も老朽化したことから第8次整備計画を期に漁港の拡張計画を策定し、外郭施設の整備を行っている。

第9次整備計画では、引き続き係留施設、泊地の整備を実施した。また、「自然調和型漁港づくり推進事業」として、港奥に整備された潜堤付き穴あき防波堤を利用し、畜養岸壁、畜養水面の整備を行った。

平成14年以降の新第1次漁港漁場整備長期計画では、地域水産物供給基盤整備事業により、泊地内の静穏度確保のため沖防波堤の整備や老朽化した係留施設等の改良を実施した。

平成24年からの新第3次漁港漁場整備次長期計画では、水産物供給基盤機能保全事業による臨港道路補修等を実施した。

平成29年からの次期漁港漁場整備長期計画では、引き続き水産物供給基盤機能保全事業による浚渫を実施するとともに、漁港施設機能強化事業による外郭施設の機能強化（嵩上げ、堤体拡幅等）を実施予定である。